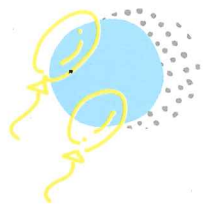


何かを始めるきっかけマガジン

緑エンジン

PLUS
engine



2022.10.1

vol.31

contents

[特集] あなたの“好き”を見つけよう!

身近な出発点

都筑区民が
利用できる公共施設を
特集!

コミュニティハウス

地区センター

地域ケアプラザ

かけはし都筑

区民活動センター

あなたの“好き”を見つけよう!

身近な出発点

なにかしたいけど、どうやって始めればいいのか分からない、
好きなことで活動してみたいけど、どんな場所で活動すればいいんだろう？
そんな方が気軽に行ける、都筑区内の公共施設5カ所の魅力をご紹介します！
縁ジンを自分の好きなこと・場所を見つける第一歩になれたらうれしいです。

※特集は、全て「市民ライター養成講座」を受講した市民ライターが記事を書いています。

区内に5カ所！

地区センター

地域住民に向けて各種イベントを開催したり、スポーツ、レクリエーション、クラブ活動、学習のために部屋や図書を貸し出すなど、区民の活動や地域交流を支援しています。



区内に6カ所！

地域ケアプラザ

地域でのつながりづくりや福祉や保健・介護に関する様々な活動や支援をしています。赤ちゃんから高齢者・障害のある人など世代を問わず誰でも相談・利用できます。



区内に7カ所！

コミュニティハウス

身近な地域活動の場として、区内の7つの小中学校に併設されています。無料の会議室やサロン、スポーツや文化、趣味のサークルなどの活動や交流の場として利用できます。



区役所近く！

かけはし都筑

福祉保健活動の拠点として、市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場の提供及びボランティアの育成・相談・支援等を行っています。



区役所内1階！

区民活動センター

「何か新しいことを始めたい」「自分の特技を役立てたい」など、地域デビューの相談ができる、区が運営する施設です。区内で活動する市民団体の情報や、講座・イベント情報がたくさんあります。



身近な出発点

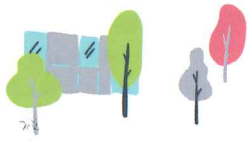
1

みんな集まれ。区民のオアシス

北山田地区センター

北山田駅から徒歩3分。幅広い年代に利用されている。その人気を探ると、ここは一大カルチャーセンターとも言える場だとわかった。

取材・写真・文＝市民ライター・緑川可奈子



サークル数 600 以上 目を見張る充実度

魅力的な施設の特徴を一部ご紹介しよう。まず入ってすぐの高い天井のロビー。大きなガラス窓から明るい光が降り注ぐ中、定期的にコンサートが開かれる。図書コーナーと学習室も完備。多世代交流が少ない昨今だが、祖父母世代のボランティア団体が孫世代に向けてお話し会を開いてくれる。地下に降りると、区内5カ所の地区センターの中でもここにしかない音楽室がある。夜21時まで利用できるから、音漏れを気にせず太鼓やトランペットなど大音量で演奏が可能。そして学生たちに大人気なのが体育館。卓球等の球技ができる。

去年は講座から韓国語、英語、占い、書道の4つが新しくサークルになった。この日取材した「韓国語メアリ」は、笑い声があふれとても楽しそうだった。サークルの数は毎年増え続け、驚くなかれ、延べ600から700もあるそうだ。これだけあれば自分好みの活動が見つかるだろう。



可能性は無限大 地域の明るい未来へ

しかし北山田地区センターはこの人気にとどまらず、更なる未来を見据えている。「今までは待ちの姿勢でしたが、これからは地域の課題解決に乗り出していきたい」と笑顔で語ってくれたのは館長の桃井宏之さん。2022年4月に新しく就任したばかりだが、すでに未来のビジョンがはっきり見えている。

一例をあげると認知症サポーター制度。職員全員受講を終えているので、町内会と協力して地域全体に広めていきたいと考えている。花壇の植栽などのボランティアを募りたいとも抱負を話してくれた。ますます区民にとって欠かせない重要な場所になっていくだろう。

私は子育ても介護も卒業して、地域で何かを始めてみたいと漠然と思っていたが、こんなに近くに色々なチャンスがあることを今回の取材で初めて知った。韓国語とボランティアはぜひ挑戦してみたい。あなたもまず、地区センターに行くことから始めてみませんか。

みんなで住みやすく
より良い街を
目指しましょう



上／館長の桃井さん
左／風が吹き抜ける高い天井のロビー



上／和気あいあいとした雰囲気
で笑い声があふれる授業
左／第2第4木曜日に活動し
ているサークル「韓国語メ
アリ」



講座だと5～6回で終わって
しまいますが、その後サークルとなっ
て早一年。転勤族で知り合いが
いませんでしたが、ここで出会う
ことができました。魅力的な先生の
レッスンが面白いのはもちろん、
言葉だけでなく韓流ドラマや料理
など、韓国文化を楽しんでいます。
（「韓国語メアリ」のメンバー）

北山田地区センター



☎ 045-593-8200

FAX 045-593-8201



[所在地]

都筑区北山田 2-25-1

(横浜市営地下鉄「北山田」駅徒歩3分)

[利用時間]

月～土 9:00～21:00

日・祝 9:00～17:00

[休館日]

毎月第2月曜日、年末年始

[主な施設]

中会議室、小会議室、料理室、和室、
体育室、音楽室、工芸室、図書コーナー、
学習室、プレイルーム

ここから始まる地域の輪

加賀原地域 ケアプラザ

身近な出発点

2

都筑区南西エリアにある加賀原地域ケアプラザ。子どもも大人も立ち寄れる地域交流の拠点として、「何かを始めたい」人々を応援している。

取材・写真・文＝市民ライター・細谷夕里子



一歩を踏み出すお手伝い あなたも地域活動の担い手に

3歳の娘を連れて初めて加賀原地域ケアプラザ（以下、ケアプラザ）を訪れた。玄関受付の方がすぐに声をかけてくれ、小さい子が遊べるオープンルームまで案内してくれた。ケアプラザというと高齢者向けの介護サービス施設を思い浮かべるが、利用してみると対象は幅広い世代だとわかる。

「市民の生活相談の窓口としてどなたにも柔軟に対応できるように心がけています」と話すのは職員で地域活動交流コーディネーターでもある石井真紀子さんだ。

平成10年からこの地にあるケアプラザは地域ボランティアの支援にも力を入れている。現在登録のあるボランティア団体は約30団体（5人以上から登録可）、活動内容は子育て支援やデイサービス利用者に向けての音楽会開催など様々だ。登録団体は無料で部屋を予約利用することができる。私が取材した子育て支援ボランティア団体「さくらんぼクラブ」も令和3年4月から登録利用を始めた。代表の佐藤一実さんは幼稚園で働いた経験

「何でも屋さんです」と笑う、コーディネーターの石井さん



左／壁にはサークル団体の作品、市民アートギャラリーのような館内
右／無農薬野菜を売るコーナー

を活かし、子どもが楽しめる場を作りたいという思いから親子で遊べる会を毎週開催。地域で活動を始めたいが何から始めたらと迷った際には、ケアプラザの扉をたたいてみてほしい。きっと次につながるアドバイスをくれるはずだ。

地域への関心が高まる今 皆が楽しめるイベントを企画

コロナ禍にあってもケアプラザは人々が集う場を提供し続けている。区内の福祉団体「都筑ハーベスト」の畑で無農薬野菜の農業体験ができる「かがはら畑部」など、近隣の福祉団体と共催する事業も多く、内容は多世代に向けて充実している。

印象深かったイベントについて石井さんに何うと、「以前携わった地域住民の交流会で、そこに集まった子どもたちに障害のある青年が絵本を読んだことがありました。その時のほっこり温かい雰囲気 genuinely が本当に良くて」と目を細めながら教えてくれた。ボランティアという意識はなくてもケアプラザに足を運ぶことでいつの間にか地域の輪の中にいる、それが個人の楽しみだけでなく地域の安心につながっていくのだろうと想像できた。



さくらんぼクラブの夏祭り！手作りのブースで子どもたちが遊ぶ

バス停からも近いので集まりやすいです、幅広い地域から8組の親子が集まり、安心して子どもを遊ばせながら親同士も地域の子育て情報を交換する場になっています。

コロナ禍が終わったら、皆で近くの畑で収穫したお芋をここで料理するのも楽しそう！



さくらんぼクラブ代表の佐藤さん

加賀原地域ケアプラザ



☎ 045-944-4640

FAX 045-944-4642



【所在地】

都筑区加賀原 1-22-32
（横浜市営地下鉄「センター南」駅からバス124系、東急田園都市線「市が尾」駅、横浜市営地下鉄「中山」駅からバス305系「加賀原」バス停下車3分）

【利用時間】 詳細はお問合せください

月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00

【休館日】

毎月第1水曜日、年末年始

【主な施設】

ボランティアルーム、地域ケアルーム、多目的ホール、調理室



ソファもあり気軽に寄れる図書コーナー

身近な出発点

3

穴場の図書スペースが魅力！

つづきの丘小学校 コミュニティハウス

つづきの丘小学校の敷地内にある、未就園児から年配者まで幅広い年齢層の人たちに愛されるコミュニティハウス。その工夫を紹介する。

取材・写真・文＝市民ライター・小山有香

ふらっと寄って本を借りる 音楽も聞こえるコミハ

令和4年4月から館長になった的場眞由美さんに、つづきの丘コミュニティハウス（以下、コミハ）についてお話を伺った。バイオリン演奏練習で利用している方の音楽に癒されながらの取材。このように個人での和室の利用や、本の貸し出し、団体での書道、ヨガ、親子リズム体操、英語教室など未就学児から年配者の方まで幅広い年齢層の方たち、年間約1万7千人に利用されている。

図書コーナーにはゆったり座れるソファが置いてあり、コミハの利用前後に雑誌などを読みながら利用され、くつろげる雰囲気だ。ここでは横浜市立図書館で、何百人もの予約待ちの本を、運がよければ予約なしで借りられることもあって人気があり、この日もたくさんの本を抱えた親子が利用していた。私も最初に訪れた時から何度か利用していて、読みたいと思っていた本を偶然手にすることができ、こんな所に穴場が！と思った。

他にも、月に2回の書道教室のお稽古がこの日にあり、毎週熱心に通っているという小学生や、成人の方など様々な年齢の人達の交流の場になっていて、休憩



月に2回行われている書道教室

時間にお菓子が配られ、和やかな雰囲気が感じられた。

毎週会える安心感 情報交換の場

未就園児を対象とした「子育て支援会」が毎週水曜日に開かれており、利用者にとっては、毎週同じメンバーに会える安心感がある場所のようだ。近所の同じような年齢のお子さんを持つ利用者が多いので、情報交換の場にもなっている。フリースペースは登録なしで行ったその日に、21時まで制限時間無しで利用できるので、勉強や打ち合わせに使用してほしいとの場さんは言う。

コミハの存在を知らない人に対しては、「読書が好き人が多い地域なので本の貸し出しをきっかけに利用者を増やしたい」とも。私も、コミハ利用のきっかけは本の貸し出しからだった。

的場さんは館長になって日が浅いので、運営はまだ手探り状態ではあるそうだが、花壇のボランティアを募るなど地域の人たちに対して多方面でのアプローチをしている。「会議室の利用など、身近なところで無料で活用できる場なので、どんどん使用してほしい、特に夜が狙い目」という話だった。

自分の特技を活かせるのも大事だけれども、楽しく幅広い年齢層の方々と交流できるのがよいところです。コロナ禍で出かけることがなかった時、書道はしゃべらなくてもできるので緊急事態宣言中も支えになりました。みなさんと会える日が楽しみです。（書道サークルの講師の女性）



にこやかに説明してくれた館長の的場さん

広々とした和室もあり
茶道にも使用できる



つづきの丘小学校コミュニティハウス



☎ 045-945-2949

FAX 045-945-2949



[所在地]

都筑区荏田東1-22-1

(横浜市営地下鉄「センター南」駅徒歩15分、「心行寺入口」バス停下車すぐ)

[利用時間]

月、水、金、土、日 9:00～21:00

[休館日]

火、木、年末年始

[主な施設]

和室、研修室、図書コーナー、ミーティングサロン

あなたとまちのかけはしになります
かけはし都筑

様々な交流や学習支援、福祉講座の企画、ボランティア活動や各種の相談活動を通じて、区民の誰もが安心して暮らせるまち・都筑を一緒につづけている。

取材・写真・文＝市民ライター・光武 徹



レイアウト自由な団体交流室で活動するチャルラス都筑

**港北ニュータウン
 まちづくりの一環として**

「港北ニュータウン」は近年あまり耳にしなくなったが1995年頃から住環境に配慮した街並みが整い、現在の区の半分を占める。「まちづくり館」は1992年に完成し、2000年まで展示館であった。

「かけはし都筑」は2003年にまちづくり館の中に開所され、地域の福祉保健活動の拠点として幅広い市民に開かれた施設である。都筑区社会福祉協議会(以下、社協)のボランティアセンターとしての機能も備え、昨年も新たに8団体、個人50名が加わり、現在100を超えるグループと300名以上の個人が登録されている。そして、高齢者支援や障害者支援、国際交流、学習支援などのカテゴリーに分類されている。職員の神山恵理さんは「ボランティア活動をお考えの方は、かけはし都筑を訪ねていただければ」と話している。

**あなたの力が生かされます
 社協のボランティアセンター**

都筑区で子育てをする外国籍の親子との国際交流をしている「チャルラス都筑」

依頼者とボランティアの双方に活動の様子を聞いて、3カ月ごとにフォローするようにしています



ボランティアセンター職員・由井さん

では、外国籍のお母さん方と日常生活に必要な情報を交換したり、互いの文化や習慣、ことばを知って交流し、心おきなくすごせる「居場所」としてかけはし都筑で活動をしている(上写真)。代表の神田めぐみさんは「エレベーターなどベビーカーでも利用しやすい設備があり、Wi-Fi、ロッカー、給湯室の設備も整っているので、かけはし都筑はとても使いやすい」とその居心地の良さを話していた。

傾聴ボランティアを続けている樋口正治さん(右写真)は傾聴を学ぶ学習会に参加したことをきっかけに、かけはし都筑で活動を続けている。コロナ禍でいったん中断した後、活動の再開を求める声を受けて、ボランティアセンター職員と実現の道を話し合い、再開することができた。

まちづくり館の充実した設備、整えられた調度と、社協の知恵と力が互いに支え合うかけはし都筑。今回の取材で、地域のつながりや支え合いを大切にする市民たちが同じ時間を過ごす場所がそこにあると感じられた。人と人をつなげるかけはしになる、そんな働きかけをもらえると感じた。



上/都筑区社協のオフィス
 下/入り口に建つ港北ニュータウンまちづくり館の銘板



70歳になって
 傾聴のボランティア
 を始めました。職員の方も
 寄り添って話を聞いて下さるので、
 ボランティア活動を続ける力に
 なっています。若い人も加わり、
 次の世代へつないで
 いけそうです。



優しいまなざしの
 傾聴ボランティア・
 樋口さん

かけはし都筑



☎ 045-943-4058

FAX 045-943-1863



[所在地]

都筑区荏田東 4-10-3
 港北ニュータウンまちづくり館内
 (横浜市営地下鉄「センター南」駅徒歩
 8分、「都筑区総合庁舎」バス停徒歩5分)

[利用時間]

月～土 9:00～21:00

日・祝 9:00～17:00

[休館日]

年末年始、施設点検日

[主な施設]

多目的研修室、団体交流室、点字製作室、
 録音室、対面朗読室・編集室

身近な出発点

5

新しいコト始めの場

都筑区民活動センター

新たな発見やチャンスに出会える可能性、
区民の来訪を心から待ち望んでいる区民のための施設。

取材・写真・文＝市民ライター・内田園子



区民活動センターは、区役所に入って右側の総合案内の裏にある

区民と地域活動をつなぐ場 仲間に加わり、特技を活かせる

市内の各区は区民活動センター（以下、区活）のような施設を持っている。主な役割は地域で何か活動がしたい人たちの相談のり、必要に応じた情報の提供を行うことや市民活動団体をサポートすることである。横浜市には公民館の代わりに地区センター、コミュニティハウス、ケアプラザがあり、地区に根差したこれらの施設と連携しているのが区活で、ここは土日オープンしている。区活には都筑区で地域活動をする200もの団体が登録しており、仲間を募集している団体も多い。情報掲示板にはスポーツ、子育て支援、文化・芸術などたくさんの分野がある。また「プログラムバンク」というボランティア制度もあり、区活に登録して個人の特技や経験を地域のために活かすことができる。娯楽、音楽、健康といった分野で約70人が活躍している。



「気軽にお越しください。何かしらの情報は持って帰れるのでは」と青木さん

つづき交流ステーションの月に一度の定例会。今後取り上げる記事について話し合っていた

団体や個人に寄り添い 企画でも寄り添う区活の役割

講座等の企画を行う職員の青木裕子さんにお話を伺った。最近、子が高齢になってきた親を区内に呼び寄せ、近くで暮らすケースが増えているらしい。「新しい町に馴染むきっかけづくりのためにも、地域で寂しさを抱える区民に寄り添った企画を考えていきたい」と穏やかに話す。

また、この日は区活の登録団体「つづき交流ステーション」が施設内のミーティングコーナーを利用して定例会を行っていた。都筑区に真剣に向き合い、区とも連携して情報量豊富なサイトを運営している団体だ。区役所のホームページにリンクされている。代表の岡崎郷子さんは自立運営の難しさを取材時に語ってくれた。それを耳にした区活の相談員は登録団体向け講座「活動資金講座」のチラシを岡崎さんに渡していた。このやりとりも区活の役割の一つを表している。

高齢者だけでなく、訪れた全ての区民に対して同様の姿勢で支援に取り組んでいるのだ。私も以前、区活で自分に合った活動を探してもらった経験がある。皆さんにもぜひ足を運んでもらいたい。



ここは垣根の低さが心強く、来たついでにいつでも話を聞ける良い関係を築けています。今まではオンラインだったのですが今日は久々に仲間会えました。利用料が無料だし。Wi-Fiも使えるため、この日はオンラインで参加された人もいましたよ。



つづき交流ステーション
代表・岡崎さん

都筑区民活動センター



☎ 045-948-2237

FAX 045-943-1349



[所在地]

都筑区茅ヶ崎中央 32-1
都筑区役所 1階
(横浜市営地下鉄「センター南」駅
徒歩 5分)

[利用時間]

月～日 9:00～17:00

[休館日]

毎月第3月曜日、祝日、年末年始

[主な施設]

ミーティングコーナー、印刷機 など

都筑区

身近な出発点

Map ①

都筑区には、地域でなにかを始めたい、広げたい方のサポート(お手伝い)を行っている施設がたくさんあります。今回ご紹介した地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウス、かけはし都筑、区民活動センターの場所を地図に示しました。まずは気軽に遊びに来てくださいね。あなたの“好き”が見つかるかも！(次号ではその他の区民利用施設をご紹介予定です)



表紙写真撮影/後藤智子 裏表紙写真撮影/新井尚幸

編集後記



- ▶ 緑ジンのおかげで書くことの楽しさを再発見しました。この出会いに感謝しています。(緑川可奈子)
- ▶ 取材前の緊張や鉛筆片手に悩んだ時間も良い思い出。応援して下さった皆様に感謝！(細谷タ里子)
- ▶ ライターの奥深さを知ることができ、良い経験でした。(小山有香)
- ▶ 様々な世代や考え方の異なる方々との交流は私の成長につながった気がしています。(光武徹)
- ▶ 区活がバックに付いてくれているという安心感のもと、伸び伸びと体験できました。(内田園子)



区役所1Fの平面図



…歩行者自転車専用道路

何かを始めるきっかけマガジン「緑ジン」2022年10月第31号
編集/企画: 都筑区民活動センター
発行: 都筑区役所地域振興課

問い合わせ
都筑区民活動センター

横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1 都筑区役所 1階

045-948-2237

tz-katsudo@city.yokohama.jp

